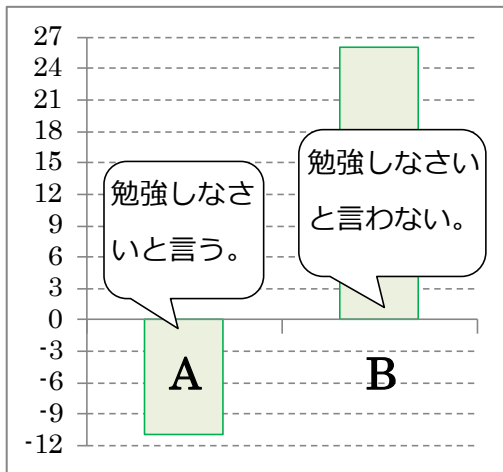


家で勉強しない姿を見ると、イライラするんです。

お子さんの成績が良い保護者は「勉強しなさい」と言う。

それとも言わない。どちらだと思いますか？



全国学力・学習状況調査結果（一部抜粋）

文部科学省が実施した“平成 20 年度全国学力・学習状況調査結果”で、『保護者の子どもへの接し方や教育意識』と『国語 B の成績』との相互関係を調べた結果を公表しました。その中に、『ほとんど毎日、子どもに「勉強しなさい」と言う』保護者のお子さん (A) は、**点数が低く**、『親が言わなくても子供は自分から勉強する』お子さん (B) の**点数が高い**という調査結果になっています。

勉強しないといけないと分かっているので、言われると反発！



頭と心 どっちを選ぶ？

自ら勉強しない生徒に、勉強する理由を聞くと「将来、必要だから」、「私立高校はお金がかかるから」と返答します。頭では理解しています。しかし、行動しません。その理由は頭と心が一致していないから。これは、大人でも当てはまります。飲み会で「お酒を飲みすぎると身体に悪いよね。でも、もう一杯！」という方をたまに見かけますよね。

勉強できる環境作りで、イライラ解決！

では、解決策をお教えします。それは環境です。先程の“学力・学習状況調査結果”から、点数の高いお子さんの家には、本（雑誌やマンガを除く）がたくさんあり、反対に、点数の低いお子さんの保護者は、スポーツ新聞や女性週刊誌を読んだり、バラエティ番組を見ている時間が長いよう



周囲に邪魔はない

です。脳科学的にはお子さんは親の行動を真似すると言われていたので、お子さんに自ら勉強をしてほしいなら、ある時間になると、リビングルームのテレビは消して、保護者が勉強するののも一つの方法です。そうすると、お子さんは親を尊敬し、真似をしましょう。

当塾では、何かの理由により家で勉強できない人のために、電話一本で毎日『自習室』が使えます。これで普段のイライラから解放されます。詳細は ☎ 078-936-9640 まで。